

横浜市におけるヤングケアラーに関する 実態調査結果

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている「ヤングケアラー」の実態を把握し、必要な支援につなげることを目的に、小中高校生を対象として実施した実態調査の結果をお知らせします。調査にあたり、相談を希望する児童・生徒には各区役所こども家庭支援課の職員等が面談も行いました。

1 調査概要

調査目的 : 支援を必要とするヤングケアラーである児童・生徒が主体的に相談できる機会を確保し、必要な支援につなげます。あわせて、ヤングケアラーと考えられるこどもの人数や実態を把握し、ヤングケアラー支援の施策の充実を図る上での基礎資料とします。

調査対象 : 横浜市立小・中・高等学校に通う小学4年生、中学1年生、高等学校1年生（合計約5万6千人、市外在住の場合を含む）

調査期間 : 令和7年12月1日(月)～12月31日(水)

実施方法 : 各学校を通じた全校実施とし、児童・生徒本人に調査概要や調査回答フォームの二次元コード等を記載した用紙を配布。啓発動画視聴後、タブレット等を用いてインターネット上で回答(回答は任意)。

(参考)小学生向け啓発動画「ヤングケアラーってなあに」→→→→

<https://youtu.be/emMvQOwOURk>

中高生向け啓発動画「ヤングケアラーって知っている？」→→

<https://youtu.be/nGyU24Y-Vr0>



調査内容 : ヤングケアラーに関する理解や実態等を把握するため、全10問で構成

調査項目	設問内容	設問数
基礎情報	居住区、学校名等	4問
理解度	啓発動画を見て「ヤングケアラー」がわかったか	1問
世話の状況	世話をしている家族の有無、世話の内容	2問
認知度	「ヤングケアラー」という言葉の認知度	1問
自認度	自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか	1問
相談意向	区役所への相談意向の有無、相談内容	1問

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



回答者数(率):41,242人(回答率:約73.1%)
小学4年生:23,548人(回答率:約81.9%)
中学1年生:16,158人(回答率:約64.6%)
高校1年生:1,426人(回答率:約54.8%)
(その他学校種別不明:110人)

2 結果概要

(1) 主な調査結果(別紙参照)

実際に家族の世話を担う児童・生徒が一定数存在していることが分かりました。「ヤングケアラー」という言葉の認知や自覚の割合は高いとは言えず、今後、児童・生徒本人や周囲の大人に対する広報・啓発を更に推進していく必要があります。

(2) 相談意向と内容

- ・「世話について悩んでいて区役所の人に相談したい」と回答した児童・生徒は126人で、うち小学4年生は106件、中学1年生は15件、高校1年生は4件、学校種別不明が1件ありました。
- ・相談内容は、「ヤングケアラー」に関する相談が約5割(47.6%)、「ヤングケアラー」以外の学校生活などに関する相談が約3割(32.5%)見られました。
- ・相談希望があった児童・生徒について、学校と共有のうえ、在籍が確認できなかった場合や児童・生徒本人から辞退があった場合などを除き、すべて面談を実施しました。

(3) 支援につながった例

ヤングケアラーとして新たに支援を開始した事例

要介護の祖母と同居し、日常的な見守り等により自身の生活や学習に支障が生じていた児童の訴えから、関係部署が連携して保護者と関係を築き、継続的な相談・支援に結び付けた。

ヤングケアラーとして引き続き支援を行う事例

複数のきょうだいを養育するひとり親家庭において家事等を担っている児童について、従前から関係機関が連携して支援している。今回の調査で本人は負担感を強くは表していないものの、家庭状況や生活状況を踏まえ、引き続き見守りと支援を行っている。

調査結果の詳細はこちらから→→



お問合せ先		
こども家庭課長	藤浪	Tel 045-671-2364



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

